

第179回 関西広域連合委員会

日時：令和7年7月31日（木）

場所：大阪府立国際会議場 3階

イベントホールC

開会 11時17分

○三日月広域連合長  少し開催が遅れましたが、ただいまから第179回の関西広域連合委員会を開催させていただきます。

  昨日はカムチャツカ半島付近の地震で、今も様々御対応いただいていることもあろうかと思いますが、その情報を含め議論、また共有させていただきたいと思います。

  最初にこのカムチャツカ半島の地震対応、津波避難対応を議題とし、広域防災局から御説明をお願いいたします。

  はい、齋藤委員。

○齋藤委員  昨日8時25分にカムチャツカ半島付近におきまして、マグニチュード8.7の大きな地震が発生いたしました。その後、9時40分に津波警報が北海道から和歌山県までの太平洋沿岸に発表されました。加えまして、津波注意報も各地域に発表されています。兵庫県をはじめ各自治体においては、恐らく防災担当部長をトップとする警戒体制を敷かれて、SNSなどの発信、また市や町の本部などと連携しながら、避難所開設などもされています。

  この間、関西広域連合では、和歌山県そして三重県において災害対策本部が設置されたことから、対策準備室を昨日9時40分に設置をしまして、警戒そして情報収集を実施するとともに、府県民、市民の皆様に対しまして安全確保のため海岸などの低いところからの退避を促すメッセージも発出したところでございます。昨日の18時半に和歌山県そして三重県の津波警報が注意報に切り替えられましたが、三重県の災害対策本部体制は維持されていることから、引き続き関西広域連合としても現体制のま

ま警戒そして情報収集を継続しています。

一方で、先ほど10時45分に北海道から千葉県を除きまして全ての津波注意報が解除されています。

今後、連携県である三重県さんの災害対策本部体制が解除されるかどうかということ踏まえながら、広域連合としての対策準備室による警戒、情報収集をどうか、終了するかということも含めて対応を検討していきたいと考えております。ただ、引き続き府県民、市民の皆様には十分注意をしていただきたいということでございます。

また、今回の対応を踏まえて、例えば情報発信の在り方や、この猛暑の中での避難の在り方を含めて状況や課題を踏まえまして、関西広域連合や各府県市における対応、対策に、南海トラフ地震も踏まえて反映していくということが大事だと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

以上です。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

様々な対応があったと思いますし、暑さの中また南海トラフを想定した情報の発信の在り方等々、課題はしっかり検証して今後に臨んでいきたいと思います。

和歌山県の宮崎委員、いろいろと御苦勞いただいた状況ありますか。

○宮崎委員      和歌山県では、昨日の9時40分に津波警報が発令されたことを受け、災害対策本部を立ち上げまして警戒に当たって、第1回本部会議で関係機関等に対し避難の徹底を働きかけること、情報収集をしっかり行うこと、特に振興局、出先のところなんですけれども、市町村の支援に万全を期すことなどを指示してまいりました。

18時30分に警報が解除されまして、和歌山県では20時に対策本部から警戒体制に切り替えをしております。その間、御坊、白浜で最高40センチ程度の津波があったということで、被害情報といたしましてはその程度ではありますが、熱中症で4人ぐらいが発症したという状況がありましたので、そういう対応はしっかりとやっていたとい

うことであります。

以上でございます。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

吉村副広域連合長、どうぞ。

○吉村副広域連合長      万博会場についてです。万博会場の夢洲というのは、南海トラフ巨大地震も対応できるように設計されており、地盤の高さは11メートルですので、万博そのものについては運営を続けたというのが一つ。

ただ、船便でのアクセスと尼崎のパークアンドライドについては、尼崎においても地盤は高くありませんので、ここは津波に警戒するということで、そこはストップをするという方針で協会として決定したところです。

ただ、課題として、その情報発信が遅れたというところはあると思います。大阪府は注意報でありましたけれども、約1メートルの予測という中で、12時頃に津波が来る可能性があるという予報でしたが、発表が12時7分ということで、これを過ぎていきますので、これはやはり情報発信のやり方に問題があると思っています。ここは協会においても、既に改善していくと発表しているとおりでありまして、しっかりここは改善をして会場におられる方への情報発信を適切、迅速に行う必要があると考えています。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

後藤田委員、どうぞ。

○後藤田委員      我が県も30から40センチの津波が確認されましたが、大きい被害はございませんでした。ただ、報道等でも拝見しますが、やはり二次被害、この酷暑に屋外や冷暖房のないところで避難し続けるこういった現状を我が県もしっかり把握して、緊防災含めてやっていきたい。全国知事会でもしょっちゅう申し上げていますが、防衛装備品ならぬ防災装備品の全国配備はやはり国がちゃんと把握して改めて整備するべきであり、緊防災について、毎年延長について要望すること自体が非常にナンセ

ンスな時代になっております。これはもう恒久的な対策を今後も是非求めていければと思いますし、また八十八か所巡礼の外国人観光客向けに、四国４県で連携してアプリ（Safety tips）の登録を推進していますが、そこも多言語対応で「伝える」ではなくて、「伝わる」対応を既にやらせていただいておりますので、万博含めて是非そういうことがなされるように、万博事務局にはお願いしたいと思っています。

以上です。

○三日月広域連合長      ありがとうございました。

広域防災局において、いち早く様々な体制を整えて情報収集等を行っていただきましたので、今回の課題は課題としてしっかりと生かして、来る南海トラフの地震対応をしっかりと取っていけるようにしていきたいと思っています。

この話題は以上といたしまして、議題次第に沿いまして「大阪・関西万博 関西パビリオンの状況等」ということで、こちらは企画委員会として開催しますので、福井県並びに三重県もオンラインで御参加いただくことといたします。

まず、本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局      資料１に基づいて御説明をいたします。

別紙１を御覧ください。現在の関西パビリオンの来館者でございますが、順調に推移をしております、実は本日、80万人を突破するのではないかという状況でございます。

別紙２は現在の関西パビリオンの状況でございますが、上の段の写真右端は関西パビリオンと大阪ヘルスケアパビリオンの全景でございます。左の博覧会協会の敷地を少しお借りして、あまりにも今暑うございますから、お客様向けの少し涼しい休息スペースをテントで提供できないか検討しているところでございます。間もなく立ち上がりまして、中にはデジタルサイネージも設置をさせていただいて、パビリオン情報はここで提供したいと考えているところでございます。

それから、WEBパビリオンでございますが、これもまた順調にアクセス数が伸

びております。ただ、これまで多目的エリアで開催しております各府県や本部事務局の催物が分かりにくいという御意見がございましたので、直ちに改修をしたところでございます。あわせてパビリオン館内におきましても、各県で特別展示やイベントをたくさんされております。これをきちんとWEB上で提供するようにということで、改修しています。

ちょうど会期半ばを過ぎたところでございますが、これからももう少し改修すべき点、あるいは考慮すべき点は直していきたいと考えておりますが、現在のこのような状況でございます。

以上でございます。

○三日月広域連合長 おかげさまで折り返し地点を過ぎ、多くの方が御来場、御来館いただいている大阪・関西万博並びに関西パビリオンでございますが、この間もう少し多くの方にお楽しみいただけるようにということでもありますとか、暑さへの対策、またWEBパビリオンを使って現地への誘いなど、より充実した取組をすべきではないかという、こういった御指摘を踏まえた改善点に対する対応状況などについても御説明がございました。

何か皆様方のほうで御意見、御質問等ございますでしょうか。

どうぞ、中原副委員。

○中原副委員（鳥取県） 関西パビリオン、非常に人気ということで多くの方にお入りいただいているんですけど、人気があるがゆえに入れられない方もいらっしゃるって、外でせめてスタンプでもという御希望の方も多くいらっしゃいます。パビリオン外へのスタンプの設置についても、引き続き御検討いただければなと思っております。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

今おっしゃったスタンプっていうのも、とても人気で特に関西パビリオンはたくさんあって、デザインもそれぞれおしゃれで、面白いということもあって、人気なんだそうですね。ただ、パビリオンに入れないと押せないのも、少し外で押すことがで

きないかとか、あと万博会場だけではなくて各府県でそれぞれの地域で1か所ずつ、来ていただければ押していただけるスタンプもセットで御用意いただいておりますので、こういったことのPRをよりしながら、特にパビリオンの外でスタンプが押せるよう今検討をさせていただいておりますので、「スタンプを押すためにパビリオンの予約を頑張ってしたんだから（外で押せるようにすることは不公平）という人との兼ね合いも含めて、調整をしながら、より楽しんでいただけるような環境をつくっていきたいと思います。

それ以外、よろしいですか。

それでは、引き続きみんなで協力してこの大阪・関西万博を盛り上げていきたいと思っております。間もなく来館者100万人が近いということでございますので、こちらの万博から更に関西各地に誘えるよう取組を進めていきたいと思っております。福井県さん、三重県さんはこれで、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、協議事項に入ります。一つ目、「令和7年度の8月補正予算（案）の概要について」を議題とし、事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局　資料2を御覧ください。

本件は、本日御協議をさせていただきまして、来る8月28日に開催予定の広域連合議会8月定例会に提案をさせていただきたいと考えております。

表題下の括弧内にはございますが、8月補正予算額は3,119万7,000円、補正後の予算額は38億4,265万2,000円となります。このたびの補正予算でございますが、令和6年度決算剰余金の処理並びに令和6年度ドクターヘリ事業に係る国庫補助金の精算に係る一部返還となっております。

1の歳入予算の補正内容でございます。（1）分担金及び負担金について、決算剰余金5,936万7,000円につきまして、構成団体の負担金を減額します。また、令和6年度のドクターヘリ事業につきまして、概算での国庫補助金受入れをいたし実績によ

る精算をした結果、国庫補助金の返還が生じており、これに係る負担金として151万3,000円を増額で対応をいたします。

(2) 繰入金、(3) 繰越金でございますが、決算剰余金の処理として、まず5,936万7,000円を全額繰越金として収入をいたします。地方財政法に剰余金の2分の1を下回らない額を財政調整基金に積み立てる規定がございますので、一旦、2分の1に当たる2,968万4,000円につきまして財政調整基金に積み立て、同額を取崩しいたしまして、今回繰入金として収入することといたしております。

続きまして、2ページを御覧ください。2の歳出予算の補正内容(1)の総務費でございますが、先ほどの御説明にもございましたが、地方財政法の規定に基づきまして、令和6年度決算剰余金の2分の1、2,968万4,000円を一旦財政調整基金に積立てとして繰り出しをするものでございます。

(2)の広域医療費につきましても、先ほどの御説明と同じでございますが、ドクターヘリ事業に係る国庫補助金の返還に要する経費151万3,000円を計上するものになってございます。

以上、歳入予算、歳出予算とも総額3,119万7,000円を令和7年度8月補正予算として計上いたし、広域連合議会8月定例会に提案をさせていただくものでございます。

続きまして、3ページの4の債務負担行為の補正内容でございます。広域医療事業費のドクターヘリ運航業務委託につきまして、令和5年度から3か年の現行契約が令和7年度末に満了することから、8年度から10年度までの3か年契約を今年度に結ぶ必要がございます。委託契約の積算に用いる医療提供体制推進事業補助金のドクターヘリ運航経費基準額が示されたことから、8年度からの運航に向けた準備を行うため債務負担行為を設定します。限度額38億5,987万2,000円とさせていただいております。

続きまして、最後の4ページの構成団体別の負担金の内訳でございますが、今回の補正によります各構成府県市の負担金の内訳を示したものであります。大阪府の負

担金が追加となっておりますのは、3月補正時の積算以上にドクターヘリの運航実績があったためでございます。

御説明は以上でございます。

○三日月広域連合長　　今、説明のあった内容について、御意見や御質問ございますか。よろしゅうございますか。

既に事務的にも様々な御説明、助成等もさせていただいているところでございますので、この点御確認いただいたものとし、議会に提出をさせていただきたいと思えます。

それでは次の議題、「『新たな広域自治・行政のあり方研究会』の設置について」ということで、資料3を御覧ください。こちらは私のほうで少し思いや経緯等を御説明申し上げたいと思えます。

この資料3の上段、目的のところに書かせていただいておりますとおり、関西広域連合は2010年、日本で最初、現在日本で唯一という府県域を越えた広域自治体として設置をされ、15年目を迎えているところでございます。

この間ですね、東京一極集中ではあかんということで、国土の双眼構造を目指そうという思いを持ちながら、京都への文化庁の全面移転をはじめ政府関係機関の地方移転にも取り組んできましたし、防災、医療をはじめ様々な広域事務をみんなで協力、分担しながら担ってきたということもございます。今、行われております大阪・関西万博、関西パビリオンの出展などについては、これは一つの大きなこういう自治体があったからできたことでもあるのではないかと考えていますが、御案内のとおり、国の出先機関の丸ごと移管はまだまだできてないということもございますし、事務権限の移譲ということについても、まだまだ道半ばです。

この間、人口減少は更に進みました。また、高齢化も進んでいます。コロナの感染下もありましたので、DXが更に進展したというこういう状況もございます。国も地方創生2.0の中で「広域リージョン連携」という新たな枠組みの提起を行い始めま

した。従いまして、この間の歩んできた道を総括また検証しながら、これから関西広域連合としてどういう形を目指していくのかということについて、研究する場をこの概要に記載のとおり設置をしたいというふうに考えております。

この間、様々な相談等をさせていただいた中でこういった形、またはこういった検討項目の整理をさせていただきましたが、この設置につきまして皆様方にお諮りをするものでございます。

何か御意見、御質問等ございましたら、ここで承りたいと思いますが、いかがでございましょうか。

この間も関西広域連合として様々な検討をしてきた過程もございますが、今日的な検討をして、開催時期はこの秋からスタートし、来年度中を一つのめどにしながら様々な検討をしていこうと。またアドバイザーの皆様にも御参画をいただき様々な御意見等もいただきたいと思いますので、この内容でよければ設置をし、議論、研究を進めていくこととしたいと思っております。

それでは続きまして、報告事項に入ります。

まず1つ目は、「駐日外交団に地方視察ツアーの実施結果」につきまして、西脇副広域連合長からお願いいたします。

○西脇副広域連合長　資料4を御覧いただきたいと思います。駐日外交団によります地方視察ツアーの実施の結果を報告いたします。

万博が開催されているこの機会に、駐日外交団の皆様に関西の魅力を紹介して、関西各地への周遊につなげることを目的に7月9日、10日に外務省との共催で視察ツアーを実施し、資料にございますように16か国、18名の方に御参加いただきました。初日は徳島県、2日目は兵庫県とけいはんな学研都市を視察いただきまして、徳島県の伝統文化や自然と共存する先進的な取組、兵庫県では防災、減災に関する取組、それからけいはんなの最先端の科学技術などを紹介いたしました。初日の夕食会と2日目の昼食会は広域連合のトッププロモーションとして実施をいたしました。夕食会は

後藤田委員にも御出席いただいたほか、大学生の皆様に阿波踊りパフォーマンスを披露いただきまして、参加者が全員で踊り、大変盛り上がったと聞いております。私も参加した昼食会では、奈良県の西村副知事や京都市の岡田副市長をはじめ、6府県市から出席をいただきまして、それぞれの魅力をプレゼンするというところで、外交団との交流も深められたと感じております。

視察を終えた外交団からは、「地方自治体との交流やネットワークが構築できてよかった」、「関西の魅力を是非本国へも情報発信したい」と言っていて、既にSNSを通じて関西の魅力も発信している大使館もございまして、関西の魅力を実感いただいたのではないかと考えております。

改めまして、御参加いただいた皆様、視察先の調整、対応でお世話になりました皆様にも御協力に感謝申し上げます。

私からは以上ですが、素晴らしいパフォーマンスを示されました後藤田委員からも何か補足等があればよろしくお願いいたします。

○後藤田委員　西脇副広域連合長が全てお話されたとおりでございますが、光栄にも我が県に来ていただいて、GX、サステナブルの上勝町ゼロ・ウェイストセンターにも行っていただき、また伝統文化の藍染め、阿波踊り、また徳島の自然にも大変皆様喜んでいただき、最後は阿波踊りを全員、私自身も踊って大変いい会になりました。翌日も京都、兵庫県にしっかりお届けをすることができましたので、大変我々としては光栄に思っております。ありがとうございました。

○三日月広域連合長　ありがとうございます。

何か今の報告に対して、御意見や御質問ございますでしょうか。

やはり大阪・関西万博があるので、関西それぞれの府県市に注目も当たりますので、こういった形で実際に現場を見ていただくツアーを実施するということも大事だと思いますし、先般滋賀県にも万博のスタッフの皆様を誘いまして、ひととき休息の時間を琵琶湖上でお楽しみいただいて大変御好評いただいておりますので、こういっ

たこともまた皆様とも連携して協力して実施していけたらいいなと思っております。

ありがとうございました。

続きまして、「『KANSAI 伝統文化EXPO』の実施」につきまして、こちらでも西脇副広域連合長からお願いいたします。

○西脇副広域連合長 資料5を御覧ください。万博会場で実施します文化発信イベント、「KANSAI 伝統文化EXPO」のイベント概要について御報告をいたします。

KANSAI 感祭実行委員会では、昨年度関西各地で産業や環境など他分野事務局とも連携しながら万博へ向けた文化発信イベント、KANSAI 感祭を実施してまいりましたが、今年度につきましては来月、大阪・関西万博の来場者に向けて関西文化の魅力発信イベントを開催するものでございます。8月9日から11日の3日間、関西パビリオンの多目的エリアで、古くから継承されてきた歴史や風土に根差した関西の伝統芸能7団体に出演をいただきまして、実演のステージ、人形浄瑠璃の人形操作や踊りなどの体験のほかに、民俗芸能に関わっておられる方々のインタビュー映像も上映したいと思います。この件は、先週7月24日にプレス発表を行っております。関西の魅力を幅広くPRして関西各地への周遊促進へつなげてまいりたいと思いますので、御協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

私からは以上です。

○三日月広域連合長 来る8月9日から11日まで3日間、大阪・関西万博関西パビリオンの多目的エリアで今御説明のあった内容、取組が行われるということでございます。

御意見、御質問ございますか。

それでは皆様、御参加、御協力よろしくお願いいたします。

続いて、「第7回『関西スポーツ応援企業表彰』募集について」を議題とし、スポーツ部から御説明をお願いいたします。

○スポーツ部 資料6をお願いします。

スポーツ部では関西経済連合会との連携の下、令和元年度から関西スポーツ応援企業表彰を実施しています。本制度の目的ですが、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取組やスポーツ分野における社会貢献活動などを通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業、健康経営の実践による従業員の健康維持・増進に取り組んでいる企業及び企業所属の審判員を表彰し、企業のスポーツ活動への参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指してまいります。

表彰の対象ですが、関西広域連合構成府県と三重県、福井県に事業所などが所在する企業等でございます。募集期間は7月22日から9月19日までとなっています。多数の御応募がありますよう周知など御協力のほどよろしくお願いいたします。

また表彰式ですが、令和8年1月下旬頃に予定しております。詳細が決まりましたら改めて御案内申し上げますので、表彰式への御出席につきましてもよろしくお願いいたします。

以上です。

○三日月広域連合長 今説明のあった内容について、何か御意見や御質問はございますでしょうか。どうぞ、齋藤委員。

○齋藤委員 スポーツということで御説明させていただきましたが、ワールドマスターズゲームズについて、先般台北大会の開会式の視察に行かせていただきました。関西大会の開催までもう2年になり、来年の春からもうエントリー開始となりますので、やはり機運醸成をしっかりと、今続けているものを各府県市もやっていくということが大事だと思っていまして、兵庫県も7月28日にワールドマスターズゲームズ2027関西の関西兵庫県実行委員会総会を、コロナ禍でできてなかった対面での開催を、プレスにも入っていただいてやりました。やはりそれぞれの地域において機運醸成を少しずつでももっと広げていくということが大事だと思いますので、是非その辺りは共

有をさせていただきたいと思っています。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。ほかに何かございますか。よろしいですか。

今お話があったように、万博の次はワールドマスタースゲームズ2027関西大会だということで、生涯スポーツの聖地を目指している関西としても、是非こういった機運醸成を更に高めていきたいと思っておりますし、開会式が行われます京都府、京都市では、その準備、検討も鋭意していただいているようですので、まとめ次第、皆様方と共有、議論できればと思っております。

また、この関西スポーツ応援企業表彰、私も数年参加させていただいていますが、この資料の最後にありますように、審判員の方々の表彰もされまして、こういったところに光を当てる表彰式がなかなかないようでして、とても皆様が励みになり、「また頑張るわ」ということでお帰りいただきますので、「この種目こそは」、「この人は」という方々を御推薦いただくと同時に、是非来年1月に行われます表彰式に御参加いただければ幸いです。

それでは、以上、この議題、報告を終えたものとしまして、次、「関西広域連合管内のドクターヘリについて」を議題とし、まず後藤田委員からお願いいたします。

○後藤田委員      関西広域連合管内のドクターヘリにつきまして、現状、今報道にもありましたとおり、御心配をいただいているところでございます。以前は、当該企業のコンプライアンス・ガバナンスの問題がありましたが、今回はいわゆるドクターヘリに搭乗する整備士の急な休職等が重なって、整備士が確保できない、その結果、7月、8月において、各ヘリが数日間ずつ順番に運航停止したいといった申出がございました。これにつきまして、改めて詳細は担当部長から説明申し上げますが、現状においても今後の運航停止期間におきましても最善を尽くさせていただきたいと思っておりますし、今後ヘリの運航会社につきましても公募も含めて広く安定的に、また安全

性を最優先にして、皆様の御意見も賜りながら改革を進めていきたいと思っておりますので、担当部長から説明をさせます。

○広域医療局 資料7を御覧ください。

整備士不足による運航停止についてでございます。（１）の「経緯等」としましては、ドクターヘリ運航においては操縦士とともに整備士が搭乗することを求めています。7月の9日にヒラタ学園から整備士の急な休職等が重なりまして、整備士を確保できないことから、7月、8月に各ヘリを数日間ずつ順番に運航を停止したいとの申出がございました。具体的な日程は資料中段の表のとおりでございます。9月以降は代替職員の確保や整備士の復帰等によりまして、安定した運航体制となる予定でございます。

また、京滋ドクターヘリ及び大阪府ドクターヘリにつきましては、整備士不足とは別に機体不具合等によりまして資料中段の表の欄外※印に記載の期間、運航を停止しております。7月の運航停止については、スケジュールが直前まで確定せず、プレスリリースを行う暇がなかったところでございますが、8月の運航停止につきましては、2ページのとおり7月30日にプレスリリースを行い、情報提供に努めております。

なお、実際にドクターヘリの要請を行う消防本部へは、別途運航停止についての連絡を行いまして、運航停止期間中において適切に代替手段が取れるよう情報提供を行っております。

（２）の「今後の対応」としまして、ヒラタ学園に対しまして、改めてドクターヘリの安定した運航体制の早期確保を強く求めてまいります。また、ドクターヘリにつきましては平時から相互応援協定等に基づくカバー体制の下、複数機のヘリが補完し合うことで助け合っております。今回の運航停止においても、二重・三重のセーフティーネットによりまして、救急医療体制の確保を図ってまいります。

説明は以上でございます。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。いろいろと御対応いただきましてど

の分野も人員がなかなか不足していて、必要な体制確保が難しいという課題は共有いたしますが、一にも二にも安全運航ということで、その体制構築を強く求めると同時に、やはり情報の共有を徹底していただいた上で、契約に基づく対応を求めていくということと、やはり二重・三重のカバー体制をしっかりと構築し合うことによって、いざというときに患者さん等を必要なところにお運びできる、そういう体制を関西広域連合として取っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

何かございますか。なければ、引き続きよろしくお願いいたします。

続きまして、「『広域連携による行財政改革の推進』に係る取組項目について」を議題とし、山下委員から説明をお願いいたします。

○山下委員　それでは、資料の8を御覧ください。

新たな企画調整事務といたしまして、令和7年4月1日から「広域連携による行財政改革の推進」に取り組むこととなりました。

取り組む項目といたしましては、1のところに書いてございます4つを候補として考えております。

1つ目は、土木技術職員及び建築技術職員に係る人材の確保でございます。これにつきましては、関西経済連合会からも懸念と要望が伝えられているところでございます。想定される取組内容は右側に記載のとおりでございますけれども、具体的なことは今後、皆様と御相談して決めていきたいと思っております。

2つ目は、公設試験研究機関の連携でございます。既に工業系におきましては、関西広域産業共創プラットフォームにおいて連携促進が図られておりまして、実績も上がっているところでございます。その他の分野、例えば、農林水産系や環境系、保健衛生系等でも同様な取組ができないか検討してまいりたいと考えてございます。

それから、3つ目が広域的な大学連携でございます。これは昨年度、関西広域連合と大学生等との意見交換会で最優秀賞を受賞した政策提案に係る検討でございます。それぞれの地方公共団体が有する公立大学間での連携によって、大学の魅力向上を図

ったり、あるいは人口減少が進む中での効率的な大学経営を視野に検討してまいりたいと考えております。

それから、4つ目が法定研修の合同実施でございます。既に資格試験や免許事務等は関西広域連合でやっておりますけれども、法定研修につきましても、これまで各府県市がそれぞれ実施しているものを連携してやることで、費用や事務負担の軽減に加え、受講者間がそれぞれ連携できるというようなメリットも考えられまして、検討を進めたいと考えております。

もう一つ、関西広域連合の既存の事務、事業の見直しも取り組みたいと考えておりまして、それが2でございます。

関西広域連合の簡素で効率的な運営のために、既存の事務、事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進してまいりたいと考えております。具体的な対象については、現在協議しているところでございます。

私からは以上でございます。

○三日月広域連合長　今説明のあった内容のとおり、特に4つの取組項目では新たな事務等をより効率的にできる形で検討をしようということでございます。

何か皆様方のほうから御意見や御質問ございますでしょうか。

単に業務を増やすだけではなく、様々連携し合いながらより効率的な広域自治行政を追求していこうということで、全面参加いただいた奈良県さん担当いただいて、検討しているところでございますので、是非今後とも積極的に連携をしていきたいと思っております。

最後、資料9は来る8月の28日、和歌山県さんで、和歌山県議会の皆様にもお世話になって、令和7年8月関西広域連合議会定例会を開催することになっておりますので、御承知おきをいただければと思います。なお、それ以外の資料配布の内容につきましては、御確認をいただければと存じます。

以上で予定した議題は全て終了となりますが、何か皆様方で関連して、もしくは

それ以外で、御意見、御発言ございますか。

どうぞ、吉村副広域連合長。

○吉村副広域連合長　大阪・関西万博に関して、全体について少し話をさせていただけたらと思います。関西の取組については、先ほど関西パビリオンを含めて発表があったとおりでありますが、万博会場においては、本日もそうですけど、日本全国の文化であったり魅力が発信されています。また、世界各国のナショナルデーも毎日のように行われていまして、各国の技術であったり文化であったり魅力が発信されているところ です。

そして、この運営状況ですけれども、約1,200億円の運営費の黒字・赤字の課題ということが以前指摘されることが多かったと思いますが、現状は本当に多くの方に御来場いただいております、また一定平準化もできている状況だと思います。その中で1,840万枚（のチケットの売上げが）が基本的な損益分岐点のラインです。その中で今1,700万枚を超えました。そして大体週当たり40万枚から50万枚当たり販売実績になって推移をしていますので、このままいけば8月中にはこの損益分岐点を超える見込みであり、その分運営費も黒字になる見込み、可能性が高いという状況ですので、その点の報告をさせていただきたいと思います。

それから、今暑い時期でもあるので、ちょっと涼しくなってから行こうかという声も聞くのですけれども、10月13日閉幕ということで、後半に非常に混雑をいたします。非常に多くの方が、これまでの万博の実績もそうですし、秋、閉幕にかけて来られることが予測されますので、是非広域連合の皆様におかれましては、「この夏休みの期間に是非行ってください」ということを広めてもらえたらと思います。また、暑い時期でもあるので熱中症に気をつけてくださいということと、それから夜の万博も充実してきております。夕方券、午後4時券という非常にお得な券も販売しておりますし、夜の万博を充実させるという点から、お土産の販売が終わる時間が早かったんですが、協会に私からも申し上げて、物販や飲食の営業を10時の終了の近い時間まで

できるようにということで今改善をしております。例えば、大阪ヘルスケアパビリオンも飲食は出しているのですが、夜市のようなものを造って、ビアガーデンみたいな形で提灯をぶら下げて、非常に好評です。夜10時前ぐらいまで飲食とか物販ができるようにしていますので、そういった意味では夜の万博も、いろんな夜景も含めて非常に美しくて、いろんな体験もできますので、また人も少し少なくなりますから、「夜の万博や夏の万博を是非楽しんでもらえたら」ということを広域連合の皆様も是非広げてもらえたらと思いますので、よろしくお願いをいたします。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。

男性も含めた日傘なんかはこの万博で一気に広がるアイテムになるのかもしれませんがね。また、大変多くの方に御来場いただいている大阪・関西万博、いよいよ後半に入っていきますが、暑さ対策に気をつけながら、夜の万博も楽しめる環境づくりに取り組んでいるので、是非皆様方更なるPRをよろしくお願いいたします。

ほかに何かございますでしょうか。

それでしたら、以上で第179回の関西広域連合委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

○本部事務局      それでは、続きまして記者会見に移りたいと存じます。

記者の皆様、御質問をお受けいたしますので、御所属、お名前を明らかにされどなたへの質問か明らかにされてから御質問いただければと存じます。

○京都新聞      京都新聞の小野と言います。三日月広域連合長にお伺いします。先ほど出ました行政のあり方研究会の設置の件で、この資料には国からの広域連合への事務権限の移譲などが進んでいないとあるのですが、広域連合としての課題について、以前関西経済連合会からも指摘を受けたと思うのですがけれども、自治体から事務権限を移譲する改革の加速を求めるという意見がありました。広域連合長として、今の関西広域連合の課題をどう見ておられるかということと、この資料の（１）の広域自治制度については、例えば道州制とかを含めた幅広い議論をされる予定はあるのかとい

う２点を伺います。

○三日月広域連合長　　まず、関西広域連合の課題ということで言えば、資料にも記載しているとおり、これまで多くの成果を上げてきましたが、まだまだ国からの権限の移譲、その受皿に十分になり得ていないのではないかと考えておりますとか、この間更に人口減少が進み、例えば基礎自治体等ではフルセットで行政を担うことがなかなか難しくなっている中で、都道府県はもちろんですけども、府県域を越えた広域自治体としてどういう役割を果たしていけるのかということが提起されておりますので、こういったことを議論することも必要ではないかと考えております。また、広域自治制度において、道州制等も議論の対象になるのかということでございますが、これまでも議論してきました。また、道州制のことをどのように取り扱うのかという議論も関西広域連合の設置当初にございましたので、この間議論してきたことも改めて振り返り、これからこの関西広域連合をどういう体制で、またどういうものを追求していくのかということについて、議論をしていければと考えております。

○京都新聞　　ありがとうございました。

○読売テレビ　　読売テレビの古瀬です。吉村副広域連合長にお伺いしたいのですが、冒頭、万博での情報発信の課題について御報告あったと思うのですが、協会としては府市と連携して調整していたという御説明もあったのですが、どういったところに協会との認識の齟齬があったのかなど、御報告受けているところあればお伺いできますでしょうか。

○吉村副広域連合長　　大阪府における会議も並行してやったわけでありましてけれども、その会議が終了するのを待って、全てを調整してから発信しようというところだったと思います。ただ、この万博会場の中にも既に多くの方がいらっしゃるわけで、いち早く情報発信すべきだったと思います。協会においても、本部会議を立ち上げたわけでもあり、そしてそこには大阪府のリエゾンも入っていますので、やはり情報発信をもう少し早く的確にする必要があったと思います。その視点が少し欠けてい

たと思いますので、ここは改善すべき点だと思っています。

○読売テレビ      ありがとうございます。

○朝日新聞      朝日新聞の野平と申します。吉村副広域連合長に伺います。先ほど、報告の中で今月中にもこのままいけば損益分岐点を超えるという報告があったと思いますが、会期残り2か月あまり残す中で目標の黒字を達成することについての受け止めをお願いします。

○吉村副広域連合長      まだ達成しているわけでもありませんが、見込みの話です。このままいけば8月下旬ぐらいに目標としている損益分岐点の1,840万枚に達するのではないかという見込みです。この間、やはり赤字になったらどうするのかというところも非常に大きな課題でもありました。誰が負担するのかということも含めて、そういう場合、万一の場合は国、大阪府市、経済界、三者で協議する必要がある等々申し上げておりました。ただ、この件は、やはり非常に多くの皆様が万博に来ていただいて、そして楽しんでいただいている。その結果としてこの黒字の見込みが近いと、黒字の見込みになっているということは非常に大きなことだと思っています。それだけやはり中身が大切ですので、万博の中身が多く国内外の皆様に楽しまれて、そして支持されているということだと思っています。今後もやはり赤字か黒字かは非常に重要なところではありますので、黒字の達成に向けてあらゆる努力をしていきたいと思っています。

○朝日新聞      もう一件、広域連合長に、北陸新幹線の延伸計画について、昨日与党P Tの委員長を務める西田参議院議員が、小浜ルートが妥当かどうか再検証するという考えを弊紙の取材に対して明らかにしていますが、これについて広域連合長としての評価と今後議論をどのように進めていくべきか御意見あれば伺わせてください。

○三日月広域連合長      北陸新幹線というのは、広域高速鉄道ネットワークですので、それぞれの地域の発展または国にとっても大変重要な路線またはネットワークだと思いますので、京都、大阪まで一日も早くつながったほうがいいと思っておりますが、

様々な課題があるということです。その課題をどのように克服していくのかということと、参議院選挙の結果を受けて様々な民意が示されたということとか、その後、与党で主要な立場を担われている方々のいろんな御発言の中にも、これまでと異なる御発言等も出てきておりますので、刻々と変わる状況や推移を見ていきたいと思っております。また、仮に方針を決めたとしても、関連する予算が通らないという状況であれば、一日も早い着工という私たちが望むことが叶いませんので、そういう議論をどのような体制で行っていくのかという事ごとにつきましても、是非これまでとは異なる形で体制づくりをお願いしたいと思っております。

○共同通信　共同通信の廣内と申します。広域連合長にお伺いしたいのですが、今おっしゃった異なる体制づくりというのは、例えば、今与党P Tを中心に議論が進んでいるわけですが、吉村知事もおっしゃっている超党派の枠組みを念頭に置かれた発言でしょうか。

○三日月広域連合長　先ほども申し上げたように、決めた方針、つくられた予算が通らないと、進まないという意味がないわけですから、当然それぞれの各政党議論をして、そういった体制づくりについても御検討いただきたいと思います。今そういったことが明らかではないので、そのことを期待し、また注視をしていきたいと思っております。

○本部事務局

では、これで記者会見を終わります。どうもありがとうございました。

閉会　１２時０９分